

ひらふ高原地区観光中核施設の整備凍結とG20誘致に係る地域説明会
意見要旨

○サン・スポーツランドくっちゃん 平成30年2月2日 13:30～ 参加者20名

質問・意見	回答
中核施設が今の予算で落札できなかったということであれば、規模を縮小して建設するという発想はなかったのか。検討したが否決されたのか。	中核施設の再入札にあたって、規模を縮小するという検討はあったが、規模を縮小するためにも新たな設計費が伴う。工事費を削減することができたとしても、設計費の増額分と比較するとそれほど効果は無いという結論に至った。
設計を変えるために設計費がかかるということだが、基本的な設計ができていのに、サイズを小さくするだけでそれほど費用がかかるものか。設計したところに具体的な打診はしたのか。	設計会社とは相談した。詳細な設計をやりなおす部分で費用が発生するという事。また、地域ワークショップを経て基本設計を行った時点では、建物の延べ床面積1,200㎡を考えていたが、実施設計で工事の全体予算額を算出した際、予算を超過することとなり、面積を削減して1,077㎡とした。ただし、これ以上縮小すると、皆さんから受けた要望の機能も損なうことから、最終的にこれ以上削れないという判断。
限られた予算や町の財政状況について、地域の皆さんは理解しているはず。どうして中止の前に地域とのやり取りがなかったのか。予算をかけて設計したのに簡単に中止するのは、自分の財布のお金ではないからそういう感覚でやるのだ。もう少し考えを改めてほしい。国の補助金も税金だ。	
地域はものすごくたくさん時間をかけて一緒に話し合いをしてきた。私たちが知らない中で中核施設の整備がなくなり、G20になり、それを新聞報道で知ったことは残念である。	
真っ先に実現してほしいとお願いしていたインフォメーション機能はこの会議場に入るのか。	中核施設に備える予定であった機能を可能な限り会議場で補完することを考えている。中核施設内に設けようとしていた観光案内所機能は会議場のエントランスの一部を活用したい。消防と臨時交番については、既存の建物で第三駐車場で運営となる。
第一駐車場、第三駐車場、サン・スポーツランドをどう使うかが大きな課題である。第一駐車場の	バスターミナルをサン・スポーツランドの敷地に設ける計画があったことは承知している。今回の

<p>有識者会議が行われており、バスターミナルをサン・スポーツランドに整備する案があった。バスターミナル機能は会議場に入るのか。</p>	<p>会議場にバスの発着点となるようなスペースを設けることは難しい。バスの乗降所を設け、会議場のエントランスなどを待合スペースとして活用することにより、現在の課題を少しでも緩和できればと考えている。</p>
<p>バスターミナルではないということか。</p>	<p>バス発着の拠点となる施設にはならない。バスが常時停車するスペースの確保は難しく、乗降スペースを確保する程度になる。乗降所の整備も条件に入れた上で、民間事業者から提案をいただくところ。</p>
<p>町からの依頼で第一駐車場の再整備の会議に参加している。町と駐車場利用関係者が同じ問題点を共有し、解決しようとしていたはずだが、それがまったく無となり、問題点がそのままになることは非常に残念。</p>	<p>駐車場については、有識者会議で中間のまとめをしたところである。その中でこのサン・スポーツランドの敷地をバスターミナルとする案もあったが、今回の会議場整備によってその方向性は難しくなったものと考えている。この地域を海外にPRし、今後の発展をより進めていきたいとの思いから会議場の整備に至った。</p>

<p>G20 を誘致するきっかけは何かあったのか。</p>	<p>国の方からこれだけの宿泊施設があるならばG20 に手を挙げてはどうかという働きかけがあった。</p>
<p>G20 の開催地決定はいつ頃なのか。</p>	<p>政府の決定時期は、過去の例では開催見込みの約1年前であるので、今年の5月か6月頃と想定していた。ただし、1月17日の北海道新聞では、2月に公表と書かれていたところ。国から発表の時期の連絡はない。</p>
<p>発表されるのは開催地だけか。開催時期もあわせて発表されるのか。</p>	<p>開催地及び開催時期も発表されると思うが、時期はまだ流動的だと思う。20か国の大臣の日程調整をするのは結構な時間を要すると思うので、まずは開催地が先ではないかと考えている。</p>
<p>開催地が倶知安町と決まった時点で、町としてはこのエリアの宿泊事業者たちに対して2019年6月から11月まで予約を取らないでほしいと要請するのか。</p>	<p>幅広い期間で「宿泊予約を取らないで」というお願いをするつもりはない。ある程度絞った時期の要請になると思う。また外務省にも開催時期を早く明確にしてほしいという依頼もする。</p>
<p>今決まっている宿泊予約はどうするのか。</p>	<p>個別にご相談したい。</p>
<p>G20 がどうなるかによって修学旅行の予約がどうなるのか見通しがつかず困っている。もう少し説明いただけるものと思っていたが、今の状況だ</p>	<p>受け入れの関係は、開催地として決まらなければお話できないこともある。開催地として決まった時点で、町として関係省庁と具体的に詰めて、地</p>

と何も説明いただけないようで残念。	域の皆さんに少しでも早く情報を伝えていきたい。
通年で事業をしている者は問題ないが、冬季だけお客さんを泊めているところは従業員の確保がどれだけできるのか。それらにはきちんと打診しているのか。	宿泊施設への協力要請は現段階では正式に行っていない。開催地として決まり次第、関係者に要請していく。
G20 を開催して地域の魅力や観光地としての成熟を世界にアピールしたいとのことだが、これまで開催地のその後というのは実際そのように繋がっているのか。	G20 の日本開催はこれが初めてであるので、これを目的とした事例は国内には無い。また、海外での事例は調査していない。洞爺湖サミットにおける経済効果や PR 効果は北海道経済連合会が公表しており、かなり高い評価であった。
G20 の警備体制はどうなるのか。住民の生活はどのくらい制限されるのか。	具体的な検討はこれからになる。警備は消防や警察と協力して進めるので、現在は町が保有する情報、警察が保有する情報を双方共有している。

会議場の大きさの要件などは、誘致表明後に示されたということか。	9月16日の時点ではわかっていなかった。9月27日に外務省から示された。
必要な会議場の大きさや要件は、過去の事例からある程度わかるのではないか。国から細かく示されていなかったけれども、とりあえず9月中に手をあげて、それから考え始め、結局会議場を作るというのはお粗末な話だ。	
会議場の整備は国の補助や外務省の予算が使えるのか。	会議場の整備に国の予算等は一切入らない。これまでのサミットでは、閣僚会議の運営費用は国が負担する。町が負担するのは、おもてなし行事等と想定している。
会議場を作った後に企業研修や学会を呼ぶとのことだが、具体的にどういうところに来てもらいたいのか。年間の開催数の目標はあるのか。	会議場はG20 閣僚会議の開催のみならず、それ以降の活用もこの地域に与える影響が大きいことから進めている。現時点では開催数等の計画はない。会議場の管理運営は指定管理者への委託を予定している。民間事業者から提案される会議場の機能等を踏まえて検討したい。
札幌のコンベンションセンターでも海外の会議が年間2件程度。ほかには国内の会議を集めてやっとの運営。倶知安の会議場は先が見えず心配。	
学会等で使うというが、どの程度の学会を呼ぶのか。ほとんどの学会はお金がないので大学の施設等を借りるケースが多い。	今回の会議場は、800 人が入る大ホール、中小の会議室を 20 室と想定している。学会のみならず企業研修、修学旅行でも使える。管理運営を委託

	<p>する指定管理者は、そのような知識を持った事業者に担っていただきたいと計画している。</p>
<p>800 人収容の大ホールや中小 20 室はどのように算出されたのか。</p>	<p>規模や部屋数等は、外務省から示された閣僚会議の要件に基づいている。それに対して町として必要な条件を付して提案を求めている。</p>
<p>会議場を通年で運用しても収支がつく見込みなのか。</p>	<p>一定以上の稼働を目指しており、会議を誘致する専門家、ノウハウを持った管理者に効果的な運営をお願いしていきたい。</p>
<p>中核施設の入札不調の要因である資材単価の高騰や労働者不足は、この会議場整備においてもより困難を極める要因となるのではないかと。単に会議場だけではなく、複合的な要素を有する建物のようなので、指定管理者はすごくあらゆることに関する知見を有している専門家集団でないと事業計画をまとめることさえ難しいのではないかと。</p>	<p>今、公募している最中である。スケジュールを作成した中では、可能な工程であると判断した。対応可能な会社が提案してくるという考えである。</p>
<p>もし俱知安が開催地に決まった後、会議場を整備できる事業者がいなくなると、G20 誘致を辞退するのか。</p>	<p>大臣会合は 10 前後開催されると思う。分野によって参加者数の偏りもあるはず。万が一の場合は規模等で国と相談したいと考えている。</p>
<p>会議場を民間から 20 年間借りるということだが、年間いくら支払うのか。</p>	<p>建物をいくらで借りるかについては今後提案される金額による。町は土地を貸すことで 5,300 万円以上の収入を得る。収入との差し引きで町は年間 5,000~6,000 万円を持ち出すことになると見込んでいる。</p>
<p>年間 5,000~6,000 万円の持ち出しということは、賃料は 1 億円ということか。</p>	<p>会議場の賃料が 1 億円とした場合は、当然 5,000 万円程度の持ち出しになるという概算。一般的な会議施設等の建築費をみると最低それくらいになるのではないかと考えている。</p>
<p>毎年 5,000 万円を 20 年間払い続けていくのであれば、渋滞問題の改善、バスターミナルの充実、待合室の快適性を上げるなどに使った方がよっぽど来訪者の満足度を向上できると思う。会議場の内容がさっぱり決まっておらず、提案を待つという状態で事業を進めていいとは思えない。</p>	
<p>会議場を建てるのはいいのが、その後のインフラ整備は考えているのか。俱知安駅は重い荷物を持ってエスカレーターもない状態で客を迎えている。インフラ整備も同時進行であるべき。</p>	<p>今後新幹線も延伸し、それに関連する事業もある。その辺も含めた財政を視野に入れながらやることをやっていく。やらなければならないものの中で優先順位をつけることは意識している。</p>
<p>収益施設に制限は設けているのか。</p>	<p>特定用途制限地区の観光Ⅱ地区の制限を受ける。</p>

	カラオケボックスやギャンブルの類は認められない。それ以外であれば自由としている。制限をかけすぎでは提案する事業者がいなくなることも考慮している。
道道の拡幅計画は入っているのかどうか。ひらふ坂交差点からの拡幅を考慮しておかないと、会議場を整備してしまった後では用地が無くなるのではないか。	拡幅については、毎年倶知安町として北海道へ要望をしている。北海道も拡幅に向けた事前調査等を行っていると言っている。会議場整備に合わせてというのは難しいかもしれないが、用地については気に留めながら進めたい。
運営会社が破綻した万が一を考慮して保証金などの担保を取るべきだ。	